

新宿区施設窓口キャッシュレス決済業務に係るプロポーザル評価基準
【第1段階評価】

		評価項目	評価の視点	
1	(1)	法人の継続性・安定性	法人としての運営は安定しているか。	
2	(1)	受託実績	過去3か年度で官公庁からの受託実績があるか。	
3	(1)	運営体制、従事者の配置	事業実施の組織体制のほか、業務責任者の業務の経験年数、業務従事者の配置は適切か。	
4	(1)	指定納付受託業務	入金サイクルや決済手数料の支払方法等、区の要望に適しているか。	
5	(1)	決済端末	決済手段・対応ブランド	クレジットカード（タッチ決済）、電子マネー、コード決済に対応しているか。 主要な決済ブランドに対応しているか。決済ブランドの追加方法及び処理に要する期間は適切か。
			機能・規格	当区が希望する端末規格に合致しているか。決済端末の連続運用時間（バッテリーの強度）は適切か。 決済、取消操作、集計等は容易（直感的）に操作可能か。
				レジ機能（決済処理、金額入力、取消・返金処理、日報等集計処理等）を端末上で実行可能か。 レシートプリンタを機器に内蔵し、レシートの文言修正が可能か。
				調達
6	(1)	POS機能	データ管理	閲覧・管理・集計等の権限の付与の設定・管理を区が実施できるか。 所属コード、科目コード、単価等のマスタ管理を区が実施できるか。（導入時に、マスタの登録を一括で実施できるか。区の歳入金「款・項・目・節」の設定等、詳細なマスタ管理を実施できるか） 集計データは長期間（5年程度）保存可能か。（閲覧・集計・データ出力できるか。）
			閲覧・集計機能	管理部門、各窓口で収納情報の閲覧、集計（日次・月次）が可能な管理画面を提供できるか。 収納科目・決済種別ごとの集計、CSV形式等でのデータ出力が可能か。（詳細な区分ごとや任意の期間での集計等、より高度な集計機能、分析機能が提供可能か。）
7	(1)	保守	保守等	事故、緊急時の対応について適切な方策が示されているか。端末本体の自然故障時の機器の交換タイミングは適切か。 操作者用と、管理者用のマニュアルが分かりやすく整備されているか。
			操作研修	機器の操作研修はデモ機等を用いるなど、実際の運用を想定した内容で実施されるか。
8	(1)	実施方針	業務実施上の区の要望事項を的確に捉えられているか。	
			提案内容が区施設窓口のキャッシュレス決済を実現するための効率的な運用に合うものとなっているか。	
			事業のスケジュールは目的を達成するにあたり適切に設定されているか。	
9	(1)	見積金額の妥当性	決済手数料率	
			その他経費	決済端末、POSシステム利用料、その他経費の見積額は妥当か。
10	(1)	その他独自提案事項	本事業に関しての工夫、その他効果的な独自提案があるか。	

新宿区施設窓口キャッシュレス決済業務に係るプロポーザル評価基準【第2段階評価】

【第2段階評価：プレゼンテーション】

項目	評価基準	備考
業務理解度・提案内容の適合性	業務の目的、条件、内容を理解し、区が必要としている業務内容に沿った提案をしているか。	※相対評価により評点する。
決済端末機能	決済端末の処理速度・耐久性・操作性（直感的に操作できるか等）	
POS機能	POS機能の操作性	
取組姿勢	熱心に取り組む姿勢をみることができる。	
合 計		